



①消防操法大会市長展示訓練で司会進行役を務める大江班員②市消防出初式で受付を担当する女性消防班③女性消防団員活性化滋賀大会に参加④地域一斉防災訓練で小学生をサポート⑤水防訓練で心肺蘇生法を実演⑥福津消防署員から小型ポンプの操作法を学習⑦市消防出初式で整列する女性消防班⑧県女性消防操法大会で操法披露



火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆け付け、それぞれの地域での経験を生かした消火活動や救助活動を行う消防団。「自らの地域は自らで守る」という精神のもと、市町村に設置される非常備の消防機関として活動しています。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災で甚大な被害をもたらす大災害を目の当たりにし、平成24年7月7日に福津市消防団に新しく女性班を設立しました。地域防災をさらに強化するため、また、自分の地域は自分で守るという考えを基に女性班を設立してから、今年で10年の節目を迎えました。

設立から10年間、地域への防災活動の啓発や避難訓練、AED講習や救命講習を通じた普及活動や取り組みを中心に、活動を行ってきました。コロナ禍で活動を制限される時期もありましたが、市民の皆さんが安全・安心に暮らせるまちづくりをサポートできるよう、11人が活動しています。

火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆け付け、それぞれの地域での経験を生かした消火活動や救助活動を行う消防団。「自らの地域は自らで守る」という精神のもと、市町村に設置される非常備の消防機関として活動しています。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災で甚大な被害をもたらす大災害を目の当たりにし、平成24年7月7日に福津市消防団に新しく女性班を設立しました。地域防災をさらに強化するため、また、自分の地域は自分で守るという考えを基に女性班を設立してから、今年で10年の節目を迎えました。

設立から10年間、地域への防災活動の啓発や避難訓練、AED講習や救命講習を通じた普及活動や取り組みを中心に、活動を行ってきました。コロナ禍で活動を制限される時期もありましたが、市民の皆さんが安全・安心に暮らせるまちづくりをサポートできるよう、11人が活動しています。

自らの地域は自らで守る
福津市の女性消防班

暮らしているまちを守りたい

～福津市女性消防班 結成10周年～

有事の際に、いち早く現場に駆け付け市民の生命と財産を守る消防団。自らの時間を削りながら、地域を守るために活動する消防団の中でも、今回は、結成10周年を迎えた女性消防班を紹介します。

問い合わせ 市防災安全課 ☎43・8107

福津市女性消防班

小田恵美 副班長

女性班設立時から地域防災や訓練および啓発活動に携わり10年を迎えました。この10年間、いろいろな人と関わることができ、人と関わることの大切さを改めて感じることができました。

私たちが住む地域もますます発展を遂げており、これからもさまざまな事に対応できるよう頑張っていきます。また、啓発活動などを通して地域の安全や安心と一緒に守っていただけたことや女性班に興味があるかたは気軽に声を掛けください。



福津市女性消防班

占部洋子 班長

女性班が設立された翌年に地元の分団長のお誘いで入団して9年経ちます。応急手当普及員の資格を取得し、地域の皆さまと活動を通して女性班で何ができるか、まだ日々勉強中です。

ここ3年で地域が大きく発展し、それとともに地域防災の啓発活動や災害時の避難方法などの市民のかたへの意識付けなどがさらに重要になると再認識し、これからは福津市の地域防災のために女性班一同頑張っていきます。



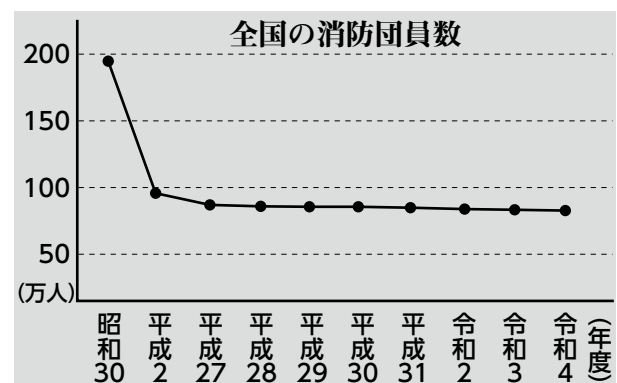
消防団は防災の要 郷土愛と使命感持って

福津市消防団は、現在男性団員270人、女性団員11人で活動しています。消防団員は、生業を持つ傍ら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛と使命感で活動しています。火災や台風などによる災害時に、地域の皆さんの生命・財産を守るために、日々の訓練や防災活動などを行い、多様化する災害に緊張感を持って対応しています。

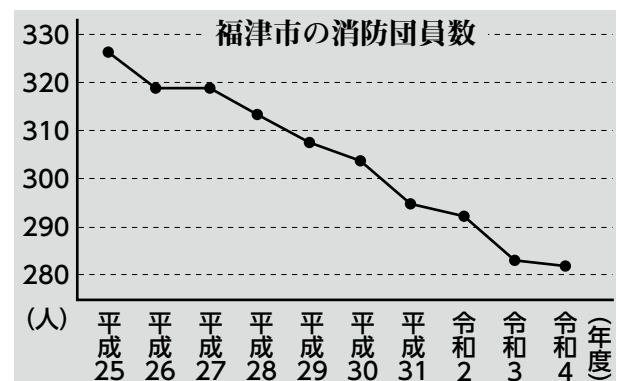
女性班においても、結成から10周年を迎え、地域の防災訓練および啓発活動、学校での救命講習指導などを行い、防災意識を高める活動をしています。

これからも、女性班はもとより、消防団は培ってきた消防技術と伝統を継承し、昨今頻発する大規模災害などに対する消防実務の向上を目指し、防災の要として地域の皆さんに信頼される消防団活動を続けてまいります。一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

松岡保徳消防団長



前と比べると1万3千人も減少しています。年間に約4千



300人ずつ減少し続けていることに加えて、高齢化も進

行しています。福津市の消防団員数を見てみると、平成25年の326人に対して、令和4年は281人と、45人減少しています。定員361人に対する充足率は78%で、厳しい状況に置かれています。

消防団に入団するには

消防団の入団条件は男女問わず18歳以上で、その地域に在住・在勤のかたが入団できます。

詳しくは、市防災安全課までお問い合わせください。

消防団の歴史は、江戸時代までさかのぼります。当時は都市の繁栄に伴い、頻繁に火災が発生していました。それをなんとかしようと、人々が集まり、力を尽くしたのが「町火消」でした。この町火消は、今日まで続く消防団などの「義勇消防」の元祖とされています。

その後、戦後の日本で消防組織法が制定され、各市町村に消防機関を設置することが定められました。そこで福津市でも、常備の消防組織とし

そもそも消防団とは

て消防本部や消防署を、非常備の組織として消防団を設置しました。地方公務員として携わる消防職員と、市町村における自己犠牲の特別公務員として携わる消防団員が力を合わせて、火災などの災害に対処することになりました。

消防団の移り変わり

阪神淡路大震災や、東日本大震災などの甚大な被害をもたらした災害を経験し、消防団のあり方も変化しました。平成25年には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、

消防団が欠くことのできない代替性のない存在として位置付けられ、地域防災のなかで、さらに重要な役割を担うことになりました。

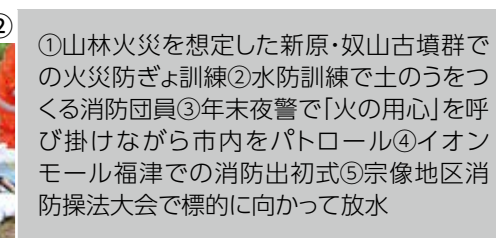
減少する消防団員

福津市消防団は現在、13の分団と女性消防班で構成されています。団長、副団長を含む、281人が団員として所属しており、万が一の災害に備えています。

全国的に消防団員は減少しています。令和3年の消防団員は約80万5千人ですが、81万8千人が所属していた3年

減少する消防団員 地域防災が危ない

消防団員募集中!!



①山林火災を想定した新原・奴山古墳群での火災防ぎょ訓練②水防訓練で土のうをつくる消防団員③年末夜警で「火の用心」を呼び掛けながら市内をパトロール④イオンモール福津での消防出初式⑤宗像地区消防操法大会で標的に向かって放水